

学校現場を取り巻く環境が複雑化・多様化し、学校に求められる役割が拡大する中、教員の長時間勤務の現状が明らかになっています。

「将来を担う子どもたちによりよい教育を実践する」ため、愛媛県教育委員会及び各県立学校において、『まじめに』働き方改革に取り組んでいる様子をお伝えします。

ぜひご一読いただき、本県の学校における働き方改革につきまして、御理解、御協力を賜りますようよろしくお願いいたします。



## 1. お知らせ

### 今年度の取組の実績

今年度は、「令和5年度 学校における働き方改革推進計画」に基づき、関係課室、各学校において各種取組を実行してまいりました。



今年度実施した主な取組は以下のとおりです。

- コンピュータ上でテスト等の実施・採点・分析を行うことができる県独自のC B Tシステムの効果的な活用の推進
- 県立学校の校務支援システムについて、更新に合わせた教職員間の双方向のやり取りを円滑化する機能等の追加
- 学校現場における総務系事務（勤怠管理や休暇、給与・諸手当等）の効率化と負担軽減を図ることを目的に、全ての県立学校への庶務事務システム導入を目指し、令和5年7月から開発に着手
- 教材作成補助や各種調査の集計等を教員に代わって行う「スクール・サポート・スタッフ」や、授業等でのICT活用を支援する「ICT教育支援員」、教員志望の大学生が放課後の学習指導・学校行事の運営補助等を行う「大学生スクールサポーター」など外部人材の配置を拡充
- 働き方改革の鍵となる部活動改革について、
  - ・県立高校の部活動改革を進めるため、「地区別検討会」を2回開催（R5. 8、12）
  - ・中学校における休日の部活動の地域移行を進めるため、国の実証事業を4市町、補助事業を6市町で実施するとともに、市町連絡協議会を開催し、進捗状況の報告や課題の共有等を実施
  - ・部活動・地域クラブ活動の在り方や移行に向けた環境整備、県の支援方針等を取りまとめた「公立中学校の部活動改革に係る愛媛県推進計画」を策定（R5. 9）
- 教職員テレワークの推進として、校務系グループウェアやドキュメントの操作等を自宅で利用可能とするテレワーク環境の改善等を実施



など

今後も引き続き、取組を進めてまいります。詳細はこちらをご覧ください。

・ 学校における働き方改革取組の実績について

[https://ehime-c.esnet.ed.jp/kaikaku/kaikaku\\_top.htm#5](https://ehime-c.esnet.ed.jp/kaikaku/kaikaku_top.htm#5)

※3月末頃更新します。



## 2. 今月号のピックアップ

毎号、その時期の特徴的な取組、新たな取組等をピックアップしてお知らせします。

今回は、『愛媛県教育委員会 令和6年度 学校における働き方改革推進計画』の策定について、お伝えします。

### 【概要（令和6年度推進計画）】

愛媛県教育委員会では、取組実績や新たな課題等を踏まえ、実効的に働き方改革に取り組むため、毎年度、推進方針に定める基本的な方針（6つの柱）ごとに、重点的に取り組む内容を検討し、計画としてまとめて実践しています。

来年度は、主に

- 県独自のCBTシステム（EILS）について、紙テストを自動採点するPBTシステムの新たな機能搭載、各公立学校での更なる活用促進
- 県立学校庶務事務システムの運用開始（R6.9 予定）を見据えた学校現場への研修等の実施、導入を契機とした業務見直し等の検討
- 県立学校における部活動改革と魅力化の推進、中学校における休日の部活動の地域移行に向けた更なる検討
- 非常勤の産業保健スタッフの増員やAIシステムの導入・活用等による教職員のメンタルヘルス対策の強化

などに取り組むほか、指導方法の共有や会議、行事等の見直し、勤務時間管理の徹底などの基本的な取組についても、引き続き推進し、教員の負担軽減を図ってまいります。

今後とも教員の働きやすさと働きがいの両面から働き方改革を継続的に進め、教員が教員でなければできないことに全力投球できる魅力ある職場環境づくりに力を尽くしていきます。



詳細はこちらをご覧ください。

・ 愛媛県教育委員会 令和6年度 学校における働き方改革推進計画

[https://ehime-c.esnet.ed.jp/kaikaku/kaikaku\\_top.htm#4](https://ehime-c.esnet.ed.jp/kaikaku/kaikaku_top.htm#4)

※3月末頃更新します。

